

リスクモンスター株式会社

(東証第二部 : 3768)

2017年3月期 第2四半期 決算補足資料



2016年11月11日

1. 2017年3月期 第2四半期 重点施策・取り組み (P.2)	21. 企業概要 (P.22)
2. 決算サマリー (P.3)	【補足】『リスモン調べ』のご紹介 (P.23)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	【補足】東京証券取引所市場第二部へ市場変更 (P.24)
4. 連結セグメント別業績 (売上高) (P.5)	【補足】『リスモン業界レポート』のご紹介 (P.25)
5. 連結セグメント別業績 (利益) (P.6)	【補足】『ポートフォリオサービスWeb管理機能』のご紹介 (P.26)
6. 与信管理サービス等 業績 (P.7)	【補足】『リスクモンスター共済サービス』のご紹介 (P.27)
7. ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	IRに関するお問合せ (P.28)
8. BPOサービス 業績 (P.9)	
9. その他サービス 業績 (P.10)	
10. 会員数推移(四半期) (P.11)	
11. 連結貸借対照表 (P.12)	
12. RM財務格付による財務分析 ① (P.13)	
13. RM財務格付による財務分析 ② (P.14)	
14. 連結キャッシュ・フロー (P.15)	
15. 企業理念と長期ビジョン(P.16)	
16. 『第5次中期経営計画(2016~2018年度)』全体的な基本方針 (P.17)	
17. 『第5次中期経営計画(2016~2018年度)』事業別の基本方針 (P.18)	
18. 2017年3月期 業績予想 (P.19)	
19. 株主のための施策 ① (P.20)	
20. 株主のための施策 ② (P.21)	



1. 2017年3月期第2四半期 重点施策・取り組み



1Q

2Q

『Japan IT Week春 第7回 クラウドコンピューティングEXPO』
リスクモンスターグループ共同出展

eラーニング『社会人なら知っておきたい ビジネスマナー』
リリース

『リスモン業界レポート』リリース
第1弾「非鉄金属製造業」掲載

格付ロジック 改定

リスモン業界レポート第2弾「繊維・衣服等卸売業」
掲載

最新版『会社紹介』配信

会社案内『リスモンちゃんねる2016夏』配信

eラーニング『5S活動実践講座(映像版)』
リリース

『ポートフォリオサービスWeb管理機能』
リリース

リスモン業界レポート第3弾「情報サービス業」
掲載

リスモン業界レポート第4弾「化学工業」
掲載

リスモンフィンテックサービス第1弾
『リスクモンスター共済サービス』
リリース

東京証券取引所市場第二部へ市場変更

リスモン業界レポート第5弾「総合工事業」
掲載

リスモン調べ 随時 調査結果発表

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額	前期比
売上高	1,294,159 千円	1,349,080 千円	54,920 千円	104.2 %
営業利益	138,165 千円	205,167 千円	67,002 千円	148.5 %
経常利益	158,561 千円	209,055 千円	50,493 千円	131.8 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	94,859 千円	130,832 千円	35,973 千円	137.9 %
1株当たり四半期純利益(EPS)	23.62 円	33.18 円	9.56 円	140.5 %
会員数	10,200 ID	10,549 ID	349 ID	103.4 %
自己資本四半期純利益率(ROE)	2.5 %	3.2 %	0.7 ポイント	128.0 %

◆売上高

与信管理サービス等、ビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)ならびに教育関連事業等を含むその他サービスが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

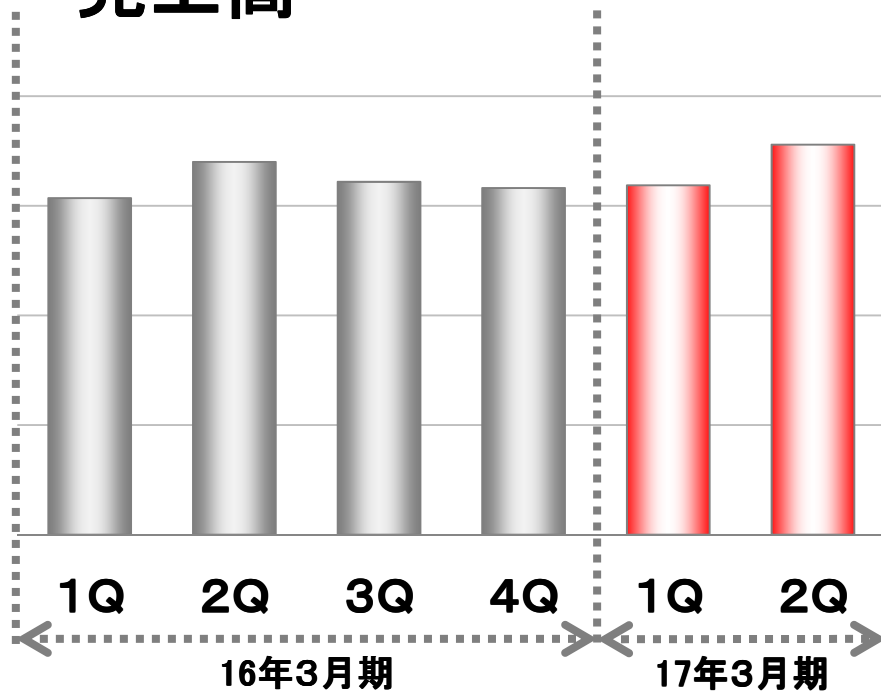
◆利益

利益率が高いASP・クラウドサービスが順調に推移したことに加え、本社移転によるグループ機能の集約によって業務の効率化が進み固定費が削減されたこと等から、前年同期を上回りました。

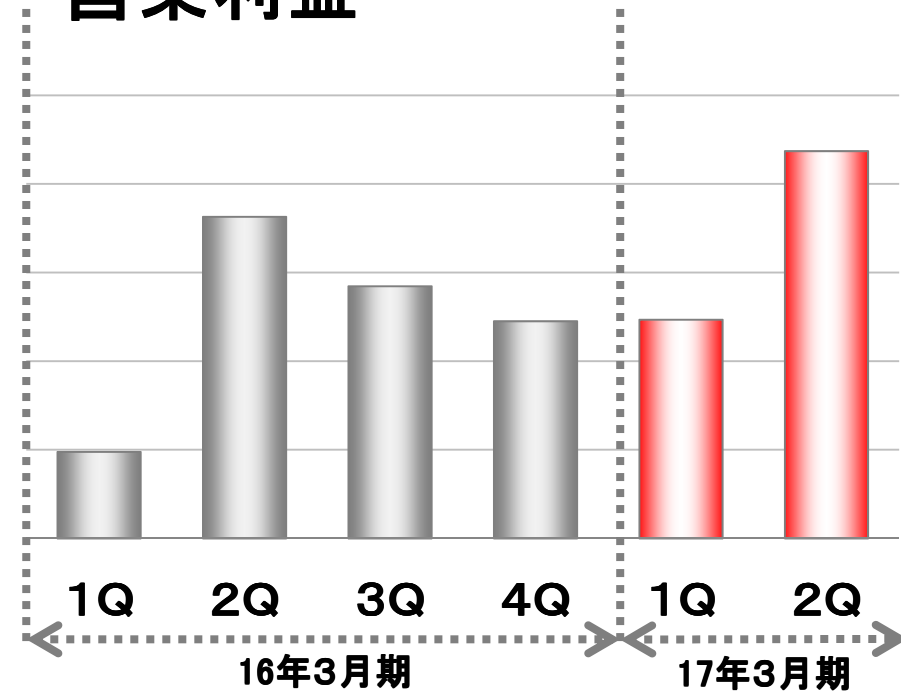
(単位：千円)

	2016年3月期				2017年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	614,080	680,078	643,670	632,489	637,440	711,639
営業利益	29,275	108,889	85,371	73,517	74,050	131,117

売上高



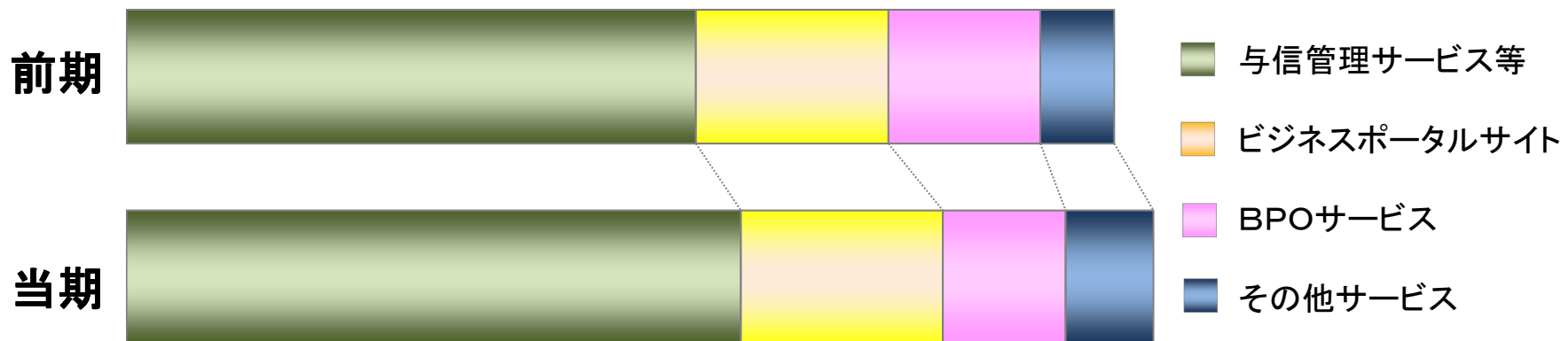
営業利益



（単位：千円）

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額	前期比
与信管理サービス等	784,056	846,003	61,946	107.9%
ビジネスポータルサイト	265,045	277,981	12,935	104.9%
BPOサービス	209,197	169,130	△40,066	80.8%
その他サービス	101,717	120,964	19,246	118.9%
調整額（注）	△65,856	△64,998	858	—
売上高 計	1,294,159	1,349,080	54,920	104.2%

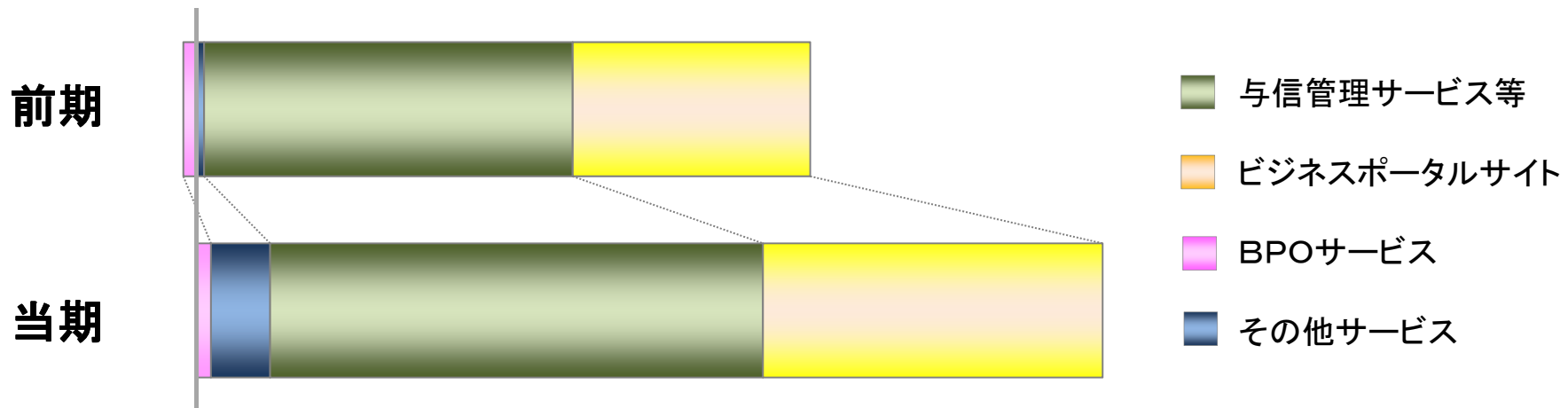
（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。



（単位：千円）

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額	前期比
与信管理サービス等	104,590	139,817	35,227	133.7%
ビジネスポータルサイト	67,375	96,371	28,995	143.0%
BPOサービス	△3,699	4,136	7,835	—
その他サービス	2,182	16,789	14,607	769.3%
調整額（注）	△32,282	△51,946	△19,663	—
セグメント利益 計	138,165	205,167	67,002	148.5%

（注）調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。



(単位：千円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	651,492	693,489	41,997	106.4%
コンサルティングサービス (注2)	132,564	152,513	19,949	115.0%
売上高 計	784,056	846,003	61,946	107.9%
セグメント利益	104,590	139,817	35,227	133.7%
会員数 (ID) (注3)	5,097	5,379	282	105.5%

(注1) 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約280万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス

(注2) ポートフォリオサービス及び金融サービス等を含むその他サービス

(注3) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互連携を行う提携会員の合計

◆売上高

新規の取引先企業を分析するサービスを中心にASP・クラウドサービスの利用が順調だったことに加え、コンサルティングサービスにおいてはポートフォリオサービスの受注単価及び件数がともに増加したことに伴い、与信管理サービス等全体で前年同期を上回りました。

◆セグメント利益

ASP・クラウドサービス及びコンサルティングサービスともに順調で、前年同期を上回りました。

(単位：千円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	241,127	253,909	12,782	105.3%
その他 (注2)	23,918	24,071	153	100.6%
売上高 計	265,045	277,981	12,935	104.9%
セグメント利益	67,375	96,371	28,995	143.0%
会員数 (ID) (注3)	3,147	3,051	△96	96.9%
ユーザー数	123,830	126,332	2,502	102.0%

(注1) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス

(注2) ホスティングサービス等を含むその他サービス

(注3) 「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

◆売上高

ディスク容量の利用が堅調に推移したこと等により、前年同期を上回りました。

◆セグメント利益

売上高と同様、ディスク容量の利用が堅調に推移したこと等により、前年同期を上回りました。

(単位：千円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額	前期比
デジタルデータ化等 BPOサービス	209,197	169,130	△40,066	80.8%
売上高 計	209,197	169,130	△40,066	80.8%
セグメント利益	△3,699	4,136	7,835	—

◆売上高

前年の上期に粗利率の低い大型案件が終了したことに伴い、売上高は前年同期に比べ減少いたしました。

◆セグメント利益

売上高は減少したものの、粗利率の低い案件が終了したことに伴い、利益率が改善いたしました。

(単位 : 千円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額	前期比
「教育関連事業」等を含む その他サービス	101,717	120,964	19,246	118.9%
売上高 計	101,717	120,964	19,246	118.9%
セグメント利益	2,182	16,789	14,607	769.3%
会員数(ID) (注)	1,956	2,119	163	108.3%

(注) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」と中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

◆売上高

定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が1,493会員となり順調に推移いたしました。
利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるグループウェアサービス等の会員数は626会員となりました。

◆セグメント利益

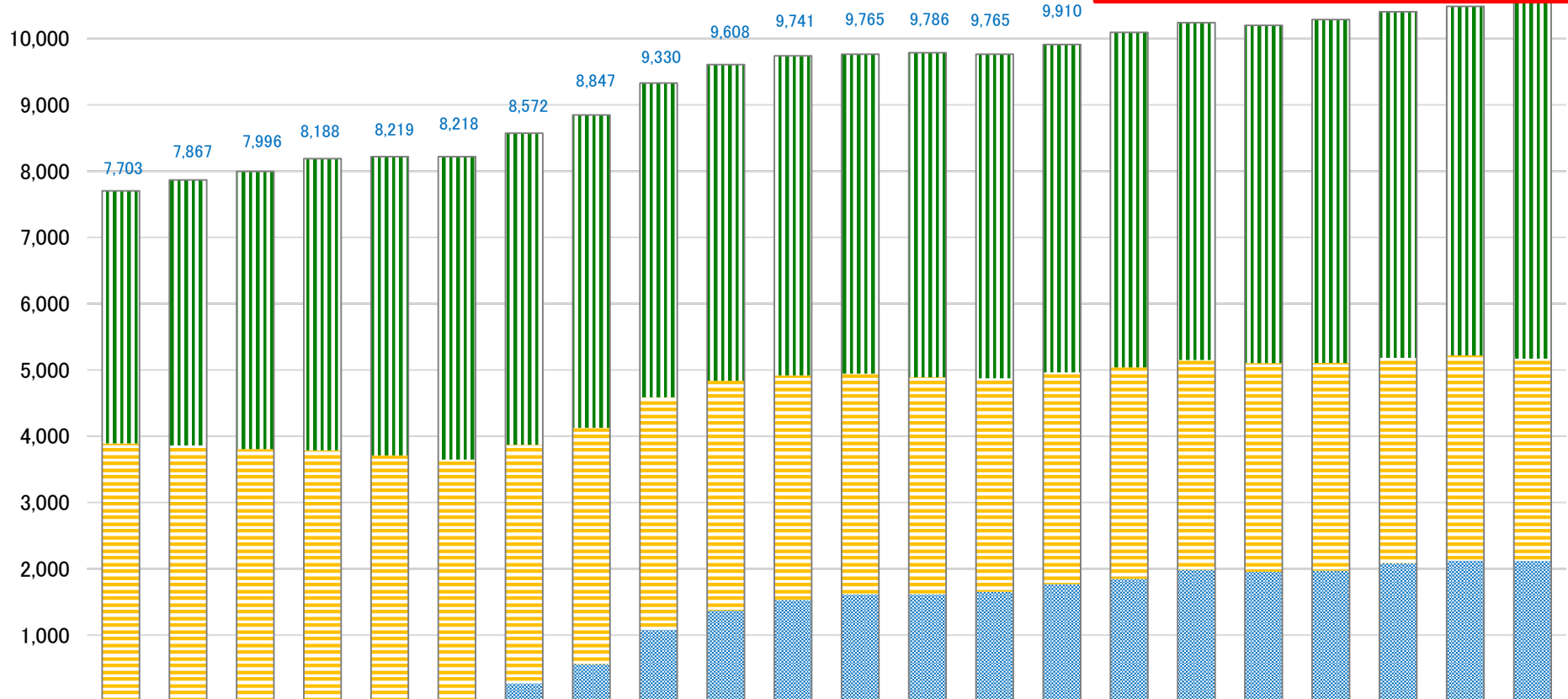
定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数増加に伴いセグメント利益も順調に推移いたしました。



10. 会員数推移(四半期)

(単位 : ID)

10,093 10,240 10,200 10,288 10,405 10,487 10,549



	2011年				2012年				2013年				2014年				2015年				2016年	
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
■ 与信管理 サービス等	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770	4,822	4,820	4,897	4,892	4,947	5,055	5,090	5,097	5,182	5,223	5,267	5,379
■ ビジネス ポータルサイト	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471	3,389	3,330	3,273	3,221	3,195	3,191	3,166	3,147	3,134	3,098	3,096	3,051
■ その他 サービス(注2)	-	-	-	-	-	-	272	563	1,081	1,367	1,530	1,615	1,616	1,652	1,768	1,847	1,984	1,956	1,972	2,084	2,124	2,119
会員数 計	7,703	7,867	7,996	8,188	8,219	8,218	8,572	8,847	9,330	9,608	9,741	9,765	9,786	9,765	9,910	10,093	10,240	10,200	10,288	10,405	10,487	10,549

(注1) 上記は重複登録している会員が一部あります。

(注2) 定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」と中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

(単位：千円)

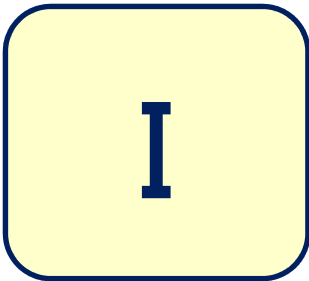
	2016年3月期	2017年3月期 第2四半期	増減額	前期比
流動資産	2,410,788	2,608,469	197,680	108.2%
固定資産	2,496,953	2,527,603	30,650	101.2%
資産合計	4,907,741	5,136,073	228,331	104.7%
流動負債	331,202	457,756	126,553	138.2%
固定負債	545,733	527,206	△18,526	96.6%
負債合計	876,935	984,963	108,027	112.3%
純資産	4,030,806	4,151,110	120,303	103.0%
負債・純資産合計	4,907,741	5,136,073	228,331	104.7%
自己資本比率	81.1%	79.7%	—	—
1株当たり純資産(BPS)	1,008.97円	1,038.64円	29.67円	102.9%
株価純資産倍率(PBR)	0.61倍	0.61倍	—	—

自己資本比率は79.7%と高水準を維持しております。

リスクモンスターグループ の評価 (東証第二部:3768)

【RM財務格付】

2017年3月期
第2四半期



【RM財務格付定義】

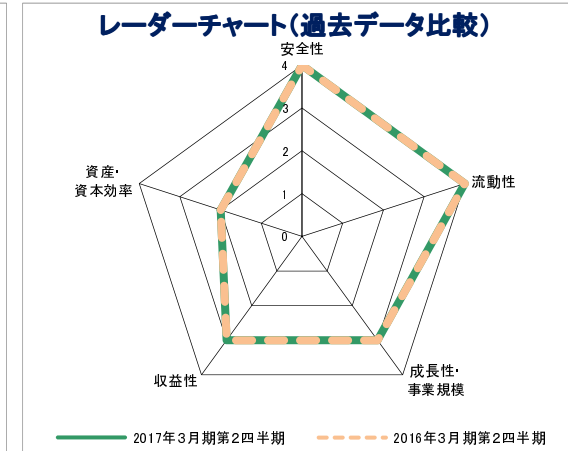
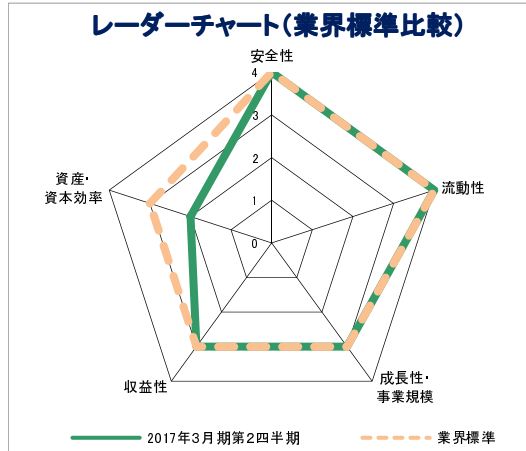
- I … 財務内容は良好です。
- II … 財務内容は概ね良好です。
- III … 財務内容にやや懸念があります。
- IV … 財務内容に大きな懸念があります。

【想定倒産確率】

- I … 0.1%
- II … 0.5%
- III … 1.0%
- IV … 3.0%

【RM財務格付履歴】

2017年3月期 第2四半期	2016年3月期	2015年3月期	2014年3月期
I	I	I	I
2013年3月期	2012年3月期	2011年3月期	2010年3月期
I	I	I	I
2009年3月期	2008年3月期	2007年3月期	2006年3月期
I	I	I	I



安全性	2017年3月期 第2四半期	☆☆☆☆
	2016年3月期 第2四半期	☆☆☆☆
自己資本比率	☆☆☆☆	
実質自己資本比率	☆☆☆☆	
借入金利率	☆☆☆☆	
借入返済年数	☆☆☆☆	

流動性	2017年3月期 第2四半期	☆☆☆☆
	2016年3月期 第2四半期	☆☆☆☆
流動比率	☆☆☆☆	
当座比率	☆☆☆☆	
現預金回転期間	☆☆☆☆	
手形割引率		

収益性	2017年3月期 第2四半期	☆☆☆
	2016年3月期 第2四半期	☆☆☆
売上高経常利益率	☆☆☆☆	
経常収支比率	☆☆☆☆	
ROA(総資産利益率)	☆☆	

成長性・ 事業規模	2017年3月期 第2四半期	☆☆☆
	2016年3月期 第2四半期	☆☆☆
売上高増減率	☆☆☆	
売上高規模	☆☆☆	
経常利益増減率	☆☆☆☆	

資産・ 資本効率	2017年3月期 第2四半期	☆☆
	2016年3月期 第2四半期	☆☆
売掛債権回転期間	☆☆☆	
棚卸資産回転期間	☆☆☆	
総資産回転率	☆☆	

※ 実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※ ☆☆☆☆(良い)~☆☆(悪い)にて表示しています。☆が表示されない項目は、評価対象外です。評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

※ ROAおよび総資産回転率は、それぞれ連結業績予想値で算出しています。

総合評価	財政状態は良好で、財務面においては高い信用力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本調達力は安定しており、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、資金調達力も見込まれることから、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、相応の収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼働状態を確認することをお勧めします。

当社グループの2017年3月期第2四半期連結決算におけるRM財務格付は、I～IVの4段階中、最高位の「I」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、業績が順調に推移したことに伴い、純資産額は2016年3月期に比べ、約120百万円の積み上げとなっているものの、流動負債の増加を主因に自己資本比率は前期81.1%から79.7%に1.4ポイント低下した。安全性に関しては、依然として非常に高い水準となっている。

流動性に関しては、現預金を前期から約140百万円積み上げ2,033百万円とし、手元流動性はさらに高まっているものの、流動負債の増加に伴って、流動比率569.8%（前期比158.1ポイント低下）、当座比率554.2%（同153.4ポイント低下）と、前期に比し大幅な低下となった。資金繰りとしては、引き続き十分な余力を有している。

【損益計算書】

連結売上高においては、前年同期比104.2%の増収推移となり、売上高四半期純利益率では、7.5%（前年同期）から10.0%（当期）へ2.5ポイントの大幅な向上となった。

これは、与信管理サービス等及びビジネスポータルサイト（グループウェアサービス等）が堅調に推移したことによるものである。通期連結業績予想においては、現状で業績予想修正はなく、前期に引き続き安定的な推移が見込まれる。

一方で、利益面においては、粗利率が前年同期53.9%から56.6%に大幅に改善されたことを主因に、営業利益、経常利益は共に増益に転じており、売上高営業利益率15.2%（4.5ポイント上昇）、売上高経常利益率15.5%（3.2ポイント上昇）と増益で推移している。収益効率は、非常に高い水準にあることから、今後も引き続き収益確保に懸念は少ないものと考えられる。

(単位：千円)

	2016年3月期 第2四半期	2017年3月期 第2四半期	増減額
営業活動	109,558	334,299	224,741
投資活動	△201,828	△121,876	79,952
財務活動	△129,747	△69,725	60,021
現金に係る 換算差額	△845	△3,061	△2,215
現金増減額	△222,862	139,636	362,498
現期首残金高	2,045,092	1,892,544	△152,548
現期末残金高	1,822,229	2,032,180	209,950

◆営業活動

税金等調整前四半期純利益	209,042
減価償却費	143,639
売上債権の増加額	△53,857
法人税等の支払額	△25,822

◆投資活動

有形固定資産の取得による支出	△12,342
無形固定資産の取得による支出	△111,062
投資有価証券の取得による支出	△24,590

◆財務活動

配当金の支払額	△39,250
長期借入金の返済による支出	△30,080

リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナルリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン **RismonG-20** 策定 (2016年～2020年)

[キーワード]

一人前の会社になる

1. 与信管理業界におけるリーダーとなる。
2. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供する。
3. 既存事業の収益を安定成長させながら、継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。
4. 新規事業、海外事業に積極的に挑戦する。

「第5次 中期経営計画(2016年～2018年度)」策定



- ◆ 長期ビジョン(2011～2015)を継続
- ◆ 経常利益、ROE等について具体的な目標設定

① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

② 投資

営業キャッシュ・フロー内での運用の中で既存サービスの品質及び顧客満足度を高める投資やセキュリティ強化の投資を行うとともに、新サービスに積極的に投資をする。

③ 資本業務提携

当社グループの中長期的戦略に合致し、企業価値向上に資することが見込まれる案件について引き続き資本業務提携を検討する。

④ 株主還元

配当性向30%、総還元性向60%を目安に継続的かつ安定的な配当を目指す。

	方針	狙い
① 与信管理サービス事業 	BPOサービス事業での業務請負運営ノウハウ及びシステムの管理運営ノウハウを総合する。	会社設立来標榜する「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)となり、与信管理業界におけるリーダーを目指す。
	収益性の安定成長を最優先課題とし、独自データベースの構築やソフトウェア投資水準の適正化により固定費を圧縮する。	限界利益率の向上を図る。
② ビジネスポータル事業 	事業の核であるグループウェアは広く一般的に利用されているソフトウェア及びハードウェアとの連携を強化する。	安定成長を目指す。
	ポータル事業としての深化と強化を実現する。	サービスの浸透度を深める。
③ BPOサービス事業 	国内外センター再編を実現し、採算管理及び納期管理を徹底する。	グループ全体のコスト削減に貢献する。
	業務請負からコンサルサービスへ転換する。	グループのシナジー効果を追求する。
④ その他事業 	◆ 教育関連事業 新規開発投資の継続と事業の挺入れを行う。	継続的に利益が出る事業基盤づくりに注力する。
	◆ 海外事業 グループ商材の海外での拡販やシステム受託を進める。	
	◆ 新規事業 周辺サービス、フィンテック企業との連携など新規事業につながるアライアンスや資本提携を積極的に行う。	

(単位：百万円)

	2017年3月期 第2四半期実績	2017年3月期 予想	差額	進捗率
売上高	1,349	2,700	1,350	50.0%
営業利益	205	310	104	66.2%
経常利益	209	320	110	65.3%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	130	210	79	62.3%
1株当たり 当期(四半期)純利益(EPS)	33.18円	53.25円	20.07円	62.3%

◆売上高

当初の予定どおりであります。

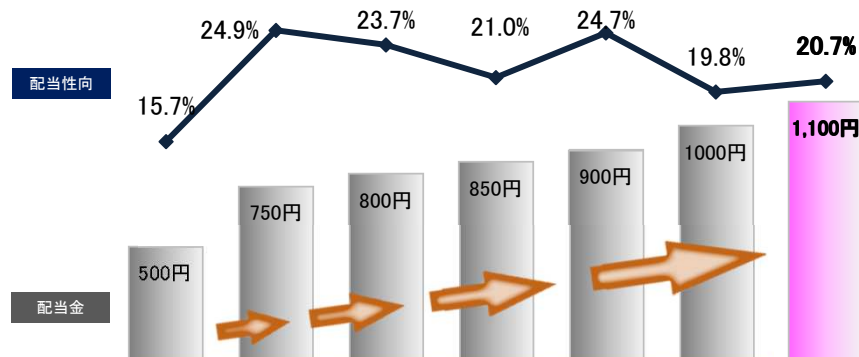
◆利益

利益率が高いASP・クラウドサービスが順調に推移したことに加え、本社移転によるグループ機能の集約によって業務の効率化が進み固定費が削減されたこと等から、当初の予定を上回りました。

※ 現時点において通期の業績予想に変更はございません。

株主還元

- ◆ 2017年3月期は当初の予定どおり1单元当たり1,100円（1株当たり 11.0円）の配当予定。
- ◆ 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指す。
- ◆ 当長期ビジョン中に配当性向30%、総還元性向60%を目標とする。



	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期
1单元当たり配当金	500円	750円	800円	850円	900円	1,000円	1,100円
配当性向	15.7%	24.9%	23.7%	21.0%	24.7%	19.8%	20.7%
総還元性向	—	—	—	—	75.5%	60.7%	—

(注) 1单元 = 100株

株主優待のご案内

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象にお好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待を実施いたします。



保有期間	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
所有株式数			
300株	当社指定 商品	1,500円 相当	2,000円 相当
500株		2,000円 相当	3,000円 相当
1,000株		3,000円 相当	4,000円 相当

自己株式について

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、引き続き自己株式の取得を検討いたします。

2016年9月30日時点 自己株式の保有状況

- ◆ 発行済株式総数（自己株式を除く）： 3,943,500 株
- ◆ 自己株式数： 85,000 株

第16回 定時株主総会

2016年6月28日に第16回定時株主総会を開催し、昨年に引き続き、株主総会と事業説明会を実施いたしました。

昨年よりもさらに多くの株主様にご来場いただき、取締役の選任に関する議案、補欠の監査等委員である取締役選任に関する議案について、ご承認いただきました。



<株主総会の様子>

リスモンちゃんねる 配信

いつでもインターネットで閲覧
することができる
「リスモンちゃんねる」で当社の
IR動画を配信しております。



リスモンちゃんねる 2016 冬
撮影の様子



リスモンちゃんねる 2016 冬
撮影の様子



21.企業概要



(2016年9月末時点)

<p>商 号 リスクモンスター株式会社</p> <p>設 立 2000年9月</p> <p>代 表 者 代表取締役社長 藤本 太一</p> <p>資 本 金 1,155,993千円</p> <p>従 業 員 数 109名(連結) 83名(単体)</p> <p>株 主 株式会社東京商工リサーチ 株式会社日本M&Aセンター 藤本 太一 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 株式会社エヌアイデイ 株式会社オービックビジネスコンサルタント テクマトリックス株式会社 リスクモンスター株式会社 ほか</p>	<p>主 事 業 内 容 与信管理サービス等 ビジネスポータルサイト BPOサービス その他サービス(教育関連事業等)</p> <p>所 在 地 (本社) 東京都中央区日本橋2-16-5 RMGビル (大阪支社) 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋8F (名古屋営業所) 名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル12F (九州営業所) 福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル4F</p> <p>連 結 子 会 社 リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 リスモン・マッスル・データ株式会社 日本アウトソース株式会社 サイバックス株式会社 利墨(上海)商務信息咨询有限公司</p> <p>株 式 市 場 東京証券取引所市場第二部 証券コード 3768</p>
---	--



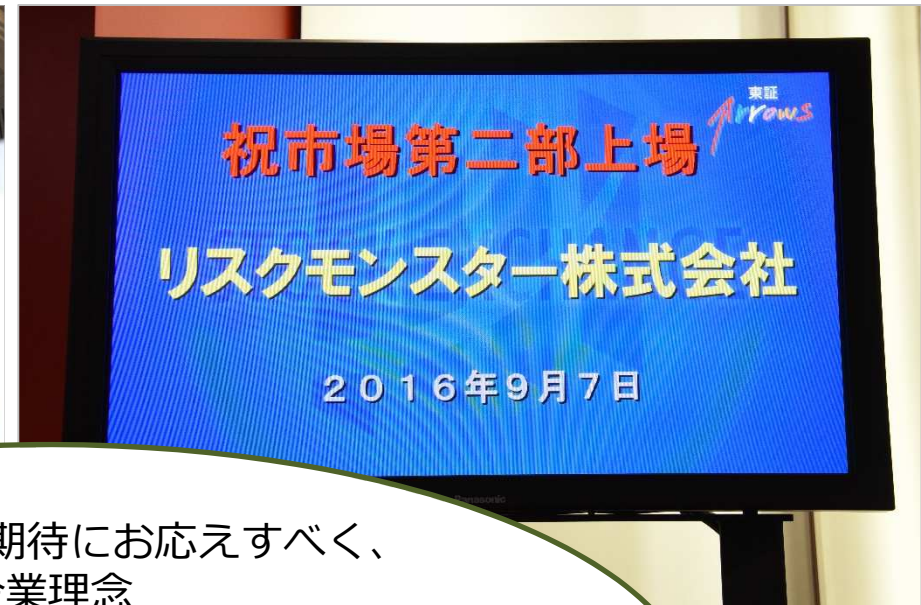
リスモン調べ 調査実績

第2回 「就職したい企業・業種 ランキング」 調査結果発表	第4回 『世界に誇れる 日本企業』 調査結果発表	第4回 『独創性を感じる 日本企業』 調査結果発表	第5回 『格付ロジック改定による RM格付変動の影響』 調査結果発表	第4回 『金持ち 企業ランキング』 調査結果発表
第2回 『大学1、2年生が 就職したいと思う 企業・業種ランキング』 調査結果発表	第3回 『100年後も生き残り と思う日本企業』 調査結果発表			

リスモン調べとはリスモンが独自に調査するレポートです。
計7件の調査結果を発表しました。

■ 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から同取引所市場第二部へ市場変更

2016年9月7日、当社の株式は、東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)から同取引所市場第二部へ市場変更いたしました。



今後も皆様のご期待にお応えすべく、
企業理念
『顧客を大切にして共に繁栄しよう』
『プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう』
を基に、更なる業容の拡大と企業価値の向上を
目指す所存でございますので、引き続き変わらぬご支援を
賜りますようお願い申し上げます。

リスクモンスター株式会社

■ リスモン業界レポート

2016年5月より、業界ごとの市場概要や業界動向、与信管理のポイントなどをレポートにまとめた「リスモン業界レポート」の提供を開始いたしました。

■ 主な特徴

「リスモン業界レポート」は、総務省が定めた「日本標準産業分類」の中分類(99業種)ごとに、市場概要や業界動向、財務指標分析を行い、業界特性に合わせた「与信管理のポイント」を提供するものです。

業界ごと特有のビジネスモデルや今後のトレンドを把握することができ、業界における取引の方向性や与信管理の重点方針を決定いただく際の参考にしていただくことができます。

自社の取引先の業界分析の資料として、是非、ご活用ください。



リスクモンスター
ホームページ
に公開中！！



< 画面イメージ >

リスクモンスター株式会社

■ ポートフォリオサービスWeb管理機能

2016年7月より、リスクモニターのサービスサイトにて、「ポートフォリオサービス」の納品データを出力や、データ更新後の最新の格付で納品データを更新することができる、「ポートフォリオサービスWeb管理機能」の提供を開始いたしました。

■ 主な特徴

「ポートフォリオサービス」は、会員様から取引先のリストをお預かりし、倒産確率に裏づけされた「RM格付」と安全な取引金額である「RM与信限度額」を提供するサービスです。

これまで「ポートフォリオサービス」の納品は、印刷物やCDメディアによるデータ納品となっておりますが、「ポートフォリオサービスWeb管理機能」のリリースにより、サービスサイトでの出力や最新格付での更新が可能になり、過去データの管理やデータ更新に対応することが可能になりました。

ポートフォリオサービス				
納品日	種別	ポートフォリオ分析資料	お取引先一覧	ポートフォリオ分析更新
2016/07/11	初回	出力	出力	申請済



<ポートフォリオ分析資料> <お取引先一覧>



<リスク分散状況の把握 資料>

<取引リスクの全体分析、定量化 資料>

サービスサイトより、ポートフォリオサービスの納品データが出力できます。

また、納品翌月の月初5営業日に限り、「申請」ボタンからポートフォリオの更新申請が可能です。

ポートフォリオサービス				
納品日	種別	ポートフォリオ分析資料	お取引先一覧	ポートフォリオ分析更新
2016/07/11	初回	出力	出力	申請済
	更新	出力	出力	

最新格付に更新されたデータがサイト上に掲載され、出力が可能になります。

リスクモンスター株式会社

■ フィンテックサービス第1弾 『リスクモンスター共済サービス』

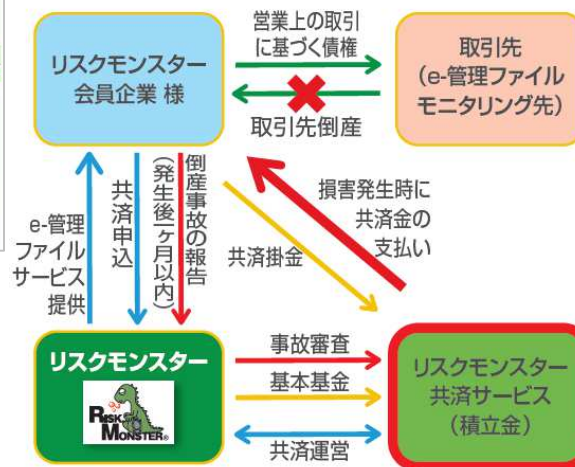
2016年8月より、「リスモンフィンテックサービス第1弾」として、取引先のアラート検知ツールとして提供しております「e-管理ファイル」にモニタリング登録された取引先を対象に、その倒産時の焦付に対し、月額1万円の掛金で最大500万円の共済金をお支払いする『リスクモンスター共済サービス』の提供を開始いたしました。

■ 主な特徴

『リスクモンスター共済サービス』は、「e-管理ファイル」にモニタリング登録された取引先で、リスモンにて取引を推奨するRM格付A～D格の企業が倒産した場合に回収困難となった売掛債権等に対し、最大500万円の共済金をお支払いするサービスです。



< e-管理ファイル >



< 取引の流れ >

共済金の原資となる
共済積立金には、
開始時にリスモンより
1,000万円を拠出
いたします！！

料金	
	・1口 10,000円/月
RM 格付	1口あたりの 支払い限度額
A	500万円
B	300万円
C	100万円
D	50万円

※E格、F格およびG格は
対象となりません。



男気

<http://www.riskmonster.co.jp>

【IRに関するお問い合わせ】

TEL : 03-6214-0352 (IR専用ダイヤル)
FAX : 03-6214-0431
Mail : ir@riskmonster.co.jp



【グループ会社ホームページ】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 <https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社 <http://www.outsource.co.jp>
日本アウトソース株式会社

サイバックス株式会社 <http://www.cybaxuniv.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司 <http://www.rismon.com.cn>

